



令和7年12月

1年 87名 2年 90名 3年 96名

全校生徒数 273名

ホームページアドレス <https://fujinomiya-shizuoka-03miya3.edumap.jp/>

師走を迎え、寒さも一段と厳しくなってまいりました。保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

まもなく二学期が終了します。本校では「志を立て、共に学ぶ生徒」を学校教育目標に掲げ、二学期は特別活動を要とし、「生徒の手で創る白銀祭」をめざして取り組んでまいりました。その結果、文化の部・体育の部とともに、生徒一人一人が主体性を発揮し、仲間と協働して素晴らしい行事を創り上げることができました。

また、グランドデザインに示した「人間力・自治力向上～自ら挑戦・仲間を認め、高め合う～」は、確かな力として子どもたちの成長に結びついています。

三学期は総仕上げの学期です。学校生活の基本であり、社会に出てから最も大切な「じかん・きれい・ことば」を要とし、学校づくりを進めてまいります。先日、生徒には「社会性を身に付ける」という話をしました。保護者・地域の皆様にも引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### <社会性を身に付ける> 校長 菊地 範士

三中では、生徒会を中心となって次のことに取り組んでいます。

- ◇ 落ち着いた雰囲気の中での朝読書 ◇ 授業2分前着席・1分前黙想
- ◇ 給食運搬のマスク、配膳のエプロン・マスク・三角巾 ◇ 静かな清掃

多くの人が、一生懸命取り組んでいます。でも、「自分くらい」「今日だけなら」と思ってしまう人もいます。やるべき時に、いるはずの場所で、やるべきことをやりましょう。そして、みんなで決めたことは、みんなで守りましょう。

最近のみなさんを見て、目指してほしい姿があります。それは、人の迷惑になることは絶対にしない。ルールや決まりは必ず守る。物の貸し借りはしない（無断で使うのはダメ）。からかいやあだ名呼びをしない（いじめアンケート：いじめられたことがある11人、いじめを見たことがある10人）。ベランダへ出るなどの危険な行動はしない。

みなさんは、社会性を身に付けることが求められています。学校は社会性を身に付けるところです。社会性とは、挨拶をする、思いやりをもつ、ルールを守る、困っている人を助けるなど、みなさんが気持ちよく過ごせるための行動です。一人一人が安心できる学校にするために、みんなの協力が必要です。人の気持ちを考えて行動してください。みんなで協力し合いましょう！

12月4日(木)に後期生徒総会があります。新しい生徒会は「友愛共進」をスローガンに、学校をもっとよくするための話し合いをします。みんなで意見を出し合いましょう。

(12月1日全校集会から)



## 【進路説明会・学級懇談会 R7.11.14】

進路説明会では、今年度より導入される県公立高校 Web 出願についての説明がありました。初めてのことでの不安を感じることもあると思いますが、担任や学年部の教員とよく相談をし、納得いく進路選択をしてほしいと思います。



学級懇談会では、保護者の方からいろいろなご意見をいただくことができました。保護者の方の不安なお気持ちを共有することができ、また、もっともっと子どもに寄り添って支援していくなくてはと考える会となりました。

学校では、次のような取り組みを続けていきます。引き続きご協力よろしくお願いいたします。

- 学校での生徒の様子をメール等でお知らせいたします。
- スクールソーシャルワーカーなどと情報共有し、登下校や学校内の見守り活動を行います。
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどと生徒、保護者を繋ぎ、心のケアに努めていきます。

## 【白尾学習本発表会 R7.11.28】

小学校3年生からスタートした総合的な学習の時間では、地域のもの、こと、人などに焦点を当て、富士宮の歴史や自然、観光などについて研究を進めてきました。3年生は小学校から学習を進めてきた7年間の集大成として、白尾学習の本発表を行いました。



3年生の発表を聞いて、1,2年生は、自身の研究をさらに深めたり、新たな視点をもらったりできたのではないか。今は突拍子もない提案かもしれません、10年後、20年後の世界では当たり前の考え方となっているかもしれません。中学生までの柔軟な思考で、大人の考えつかないような新しい富士宮を想像してほしいと思います。

## 【市内全体研修会理科研究授業 R7.11.12】

富士宮市内の教職員が、各教科・領域の研修のため、各校に分かれ研修会を年2回行っています。中学校理科では、本校の馬飼野教諭が2年1組で研究授業を公開発表しました。ドライアイスから出る「モクモク」を人工的に増やしたり、減らしたりするにはどうしたらよいのかを、生徒が予想と実験を通して考えていました。そもそもドライアイスから出ている「モクモク」の正体は何なのか、答えは中学1年生の理科の教科書にあるようです。過去に学習し、自身の頭の中にしまわれている内容を再利用して今の疑問の解決につなげていく。友達のひらめきから仮説を立てて考察をしていく。先生から知識を学ぶのではなく、自分たちで新たな知識を獲得していくように、授業が進んでいきました。



本校での他教科の授業においても、生徒の疑問や興味、ひらめきを大切にし、生徒の思考の流れに寄り添って授業を進めています。授業内容や授業中の様子など、気になる方はいつでも授業参観にお越しください。